



研究

昭和生まれ×平成生まれの「異世代ホームシェア」
4月から広く、一般募集を開始

福井県は全国的に見て戸建て住宅の割合が高く、高齢化の進展に伴い、広い一軒家に高齢者が一人で住んでいるという光景が多くみられます。

そこで、建築建設工学専攻 菊地 吉信准教授らは新たな取り組みとして、福井県社会福祉協議会とともに、高齢者が所有する住宅の空き部屋を福井大生が借りて共に暮らす“異世代ホームシェア”事業を提案しています。これにより、高齢者と大学生は互いの生活面の不安や負担を補い合うことができます。実施前には、コーディネーターが双方の要望を聞いてマッチングやルール決めを行い、お互いが納得できる住み方を組み立てることにしています。すでに、実証実験として、82歳と18歳のペア1組が1か月ホームシェアを実施しました。このペアは、当初のルールになかった食事をほぼ毎日一緒にするなど、楽しみながらリズムのある生活を送ることができたようです。

初めて一人暮らしをする大学生は、知らない土地での生活に不安を感じていたり、地域住民との関わりが薄かったりする傾向があります。しかし、長年地元に住んでいる方と生活を共にすることで、学生と地域との関わりも生まれ、新たなコミュニティの形成につながることを期待されます。

このような異世代ホームシェアは全国でも非常に珍しい取り組みです。菊地准教授らは、4月より一般の利用者を広く募集していきます。

問い合わせ 大学院工学研究科 建築建設工学専攻
菊地吉信准教授 0776-27-8973

学生活動

学生視点で東郷の魅力を発信！
～フリーペーパー「ぐる巡り」発刊～

教育地域科学部 地域科学課程 公共政策系経済ゼミ（木村研究室）は、先進的に「まちづくり」に取り組む福井市東郷地区でのアクティブ・ラーニングを実施しています。この取り組みは平成21年度から行っており、学生らは地域行事への参加や区民へのインタビューなどを通し、本当に必要な「まちづくり」とは何かを学んでいます。

今年度は、学生らの視点をまちづくりに生かそうと、東郷地区を「食」を通し紹介するフリーペーパーを作成。おつくね祭りなど「食」をまちづくりに取り入れている東郷地区の、美味しい郷土料理屋や酒屋、特徴ある地産地消の取り組みなどを学生視点で紹介しています。

作成した取り組んだ河村英里香さん（3年）は、『年代を問わず楽しむことができる「食」をテーマにしました。多くの方に東郷の魅力を再発見してほしいです。』とフリーペーパーに込めた思いを語っています。

なお、本フリーペーパーは、東郷地区（こびり庵、安本酒造、毛利酒造、JA東郷、東郷公民館）、福井大学、福井県庁・福井市役所、JR福井駅、えちぜん鉄道主要駅など県内10ヵ所で配布中です。

問い合わせ 教育地域科学部 地域科学課程
木村 亮教授 0776-27-8446

研究

脳の視覚野に悪影響を及ぼす家庭内暴力
家庭内の環境が脳の発達に影響

子どもの頃から、身体的、心理的な虐待やネグレクト（養育放棄や育児怠慢）を受けると、その影響は大人になった後も、うつ病やPTSD(心的外傷後ストレス障害)といった様々な精神疾患を引き起こします。加えて、直接その子どもに身体的・心理的な虐待を行っていなくても、両親の不仲や父親が母親に暴力をふるうなど家庭内暴力を目撃したことで、その影響があるといわれています。しかしその脳への影響についてはほとんどわかっていないのが現状です。

子どものこころの発達研究センターの友田明美教授は、ハーバード大学精神科のタイチャー准教授らと共同で、子ども時代に家庭内暴力を目撃した経験を持つ22名を含む18～25歳までの青年52名の脳の発達について検討を行いました。高解像度脳容積解析法(Voxel Based Morphometry)と大脳皮質表面解析法(Cortical Surface-Based Analysis)で脳の視覚皮質灰白質の容積と厚みを計測したところ、子ども時代に家庭内暴力を目撃した経験を持つ青年では、目撃しなかった人に比べて容積、厚みの双方が減少することがわかりました。

このことを論文「Reduced Visual Cortex Gray Matter Volume and Thickness in Young Adults Who Witnessed Domestic Violence during Childhood」として発表したところ、アメリカの科学雑誌「Plos One」に掲載されました。

友田教授は、「近年、心的トラウマに関して、画像研究や遺伝子医学研究から多くの知見が報告されるようになってきた。直接子どもに虐待をしていなくても家庭内の不適切な環境が子どもに与える影響は大きい。本来見えるはずのものが見えなくなったりする症状が出ることもあるので、今回この視覚野という領域に影響が出ることが証明され、治療にも生かすことができるかもしれない。」と話しています。

問い合わせ 子どものこころの発達研究センターAge2 企画
友田明美教授 0776-61-8677

Information

○総合研究棟（医学系）改修竣工記念式典

とき 3月27日（水）14:00～15:00
ところ 総合研究棟（医学系）玄関（松岡キャンパス）
※旧医学部講義棟 玄関前

問い合わせ 松岡キャンパス総務室
総務・企画係 出口 0776-61-8206

★次号は、2013年4月8日発行予定です★

【発行・お問い合わせ】

福井大学 広報センター
〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1
TEL 0776-27-9733 FAX 0776-27-8518
E-mail sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

